

協働事業アイデア提案書（登録公開内容）

1. 提案者の区分（該当する区分の にチェックを入れてください。）

個人 任意団体 NPO法人 企業 その他（ ）

団体の場合は団体名をお書きください。（ ）

2. 事業の名称（事業アイデアに名称をつけてください。）

事業の名称 百均グッズで歩き易い靴にする

3. アイデア提案の概要

課題（私（たち）は、次のようなことが課題（問題）に着目しました！）

足当たりが良いということで、自分の足より大きく、柔らか過ぎる靴を履いて足アーチを経年で潰してしまっているトラブルを多く見かける。足の病院に掛かる約8割が足アーチ潰れによるトラブルである。寝たきりになるフレイルは足が弱ることから始まると知られているが、足・靴への関心・知識を高めないと高齢化が進む中で要介護状態が増える懸念がある。自分の足の状態を知り、足に合った靴を履く事は市民の健康にとって、とても大切なことである。

解決方策（私（たち）は、の課題を解決するために、次のような事業をやりたいと思っています！）

本当にあった靴にするにはフルオーダーが必要だが、全ての人が購入できるものではない。簡易的にはなるが、足の悪化を少しでも食い止めたいので、以下の方法で足・靴の啓発を行いたい。

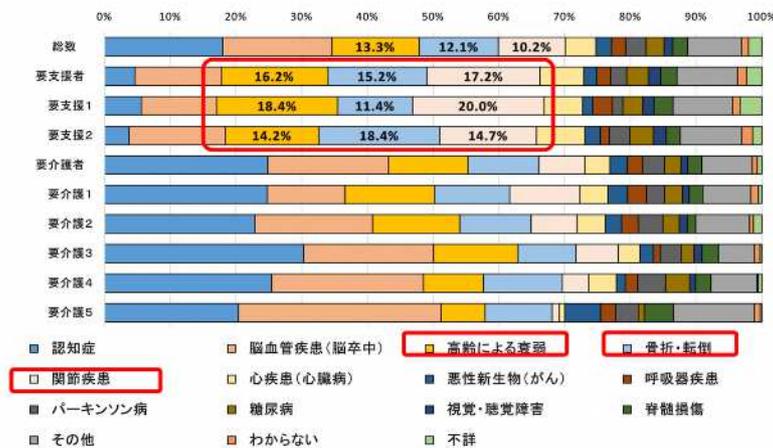
1. どういう靴が合っているのか、合っていない靴を履いているとどうなるのかという座学
2. 足の計測 正しい靴のサイズを知る。
3. 百均グッズでパッドを入れると少しでも楽になるという経験をする。

効果（の事業を市と協働することによって、次のような効果が得られると思います。）

身体を動かさない要因による要支援は、厚労省 H28 年の健康データで5割程度あった。相模原市でも同程度いると推定できる。この要因の半分程度は足からであるのは推定できる。この半分でも足トラブルの予防・改善できれば、4割程度の介護費用が抑制できる可能性がある。この試算は介護費用だけなので、医療費削減や、生産人口増加等別の効果も考慮出来る。市民のどれだけが足・靴の正しい関係を知るかで効果が変わってくるので、一緒に啓発したい。

要介護度別にみた介護が必要になった主な原因

■ 要支援者の48.6%は、体を動かさないことに伴う心身の機能低下が要因の一つとなっている。



資料 厚生労働省「平成28年国民生活基礎調査」

3. 私（たち）の役割（事業の中で私（たち）が具体的に担うこと！）

シューフィッター資格はあと 28/50 人分型を取るだけで取得でき、木型制作からの靴製作を学び・作成しているので、こういったアドバイスができる。

をワークショップとして実施したい。

4. 市に期待する役割 (事業の中で市に担ってほしいこと!)

のワークショップ開催場所を無償提供してほしい。市の後援を持って、公共の場や自治会の回覧板にワークショップのチラシを入れてほしい。ワークショップを取材してもらい、市の広報誌等に掲載してもらい、次のワークショップにより多くの市民を集う支援をして貰いたい。4割は言い過ぎかもしれないが、市民の足の機能を保全・改善することは、まるっきり効果が見込まれないことではない。市の持つデータを提供してもらい、このワークショップの相模原市での効果をきちんと試算したい。また、もっと足の機能保全で色々な方と連携できるといい。

5. 登録の目的

(該当する項目に 印をお付けください)

ア	担い手・団体募集! (一緒に事業を行ってくれる人を探しています)	○
イ	情報収集! (経験者(専門家)などからのアドバイスがほしい)	
ウ	その他()	

6. その他(メッセージ・アピール) (私(たち)の熱い思いを伝えます!)

少しでも多くの市民の方に自分の本当の足のサイズを知って、より合った靴を履いてほしい。足・靴のトラブルを抑制出来れば、杖 寝たきりになるのを減らせると信じて活動をしています。

コツコツやるつもりですが、一人でやっているとな少ない人数しか見れません。

一緒に活動頂ける仲間を募っています。

ちょっとお身体を支えて頂くとか、小さいことからでも有難いので宜しくお願いします。

